



T-Lion Voice Home

T-Lion (The Triumphant Lion: サ・トライアンファント ライオン)

※Triumphant=「勝利を得た」「意気揚々とした」の意

第8号

ボランティア精神の育成に向けて

本学は、創設者日高藤吉郎が掲げた“體育富強之基”を建学の精神としています。そして、この基本理念に基づいて“国際社会・地域社会において、先導的役割を担う有為な人材を輩出し、人類共通の願いである、幸福で豊かな社会の構築に資する”“人材の育成をミッションとして掲げ、学内外において「教育」「研究」「社会貢献」に取り組んでいます。

平成30年度は日本体育大学社会貢献推進機構を立ち上げて5年目の活動となりました。これまでの活動を振り返ると、運動、スポーツ教室、各種講座・講習会、防災訓練、地域美化活動、スポーツフェスタなどが展開され、学生のボランティア精神が育まれてきました。これは、学外へ向けた“社会貢献”と言えます。しかし、社会貢献とはプログラム化された無償奉仕活動を意味しているだけではありません。日常生活のなかに、そして、勉学・研究のなかにもボランティア精神を育む機会があります。本機構の5年間の活動が、学外向けの社会貢献が中心であったとすれば、これからはより一層に学内へ向けた“内なる社会貢献”、つまり、学内へ向けたボランティア精神の育成が求められているのかもしれません。

この点をより明確に示すために、また、“體育富強之基”を具現化するために、大学内外のあらゆる関係者が「ボランティア精神の育成」にむけて情報を交換し、交流し、考える場を提供していくことが、これからの本機構が果たすべき役割と考えています。



日本体育大学社会貢献推進機構
スポーツプロモーション・オフィス
ベースマネージャー(世田谷)

波多腰 克晃



● 日体大スポーツフェスタ2018(東京・世田谷キャンパス)



● 日体大スポーツフェスタ in 横浜・健志台キャンパス

社会貢献活動に関する各種の取り組み

体育・スポーツ活動支援

オリンピック・パラリンピック教育として車いすバスケットボールの依頼が増加しており、5件派遣しました。運動部の演技披露および指導については、学校や地域イベントへのダブルダッチサークルの派遣が8件と最も多く、老人ホームでの演技披露として新体操部、チアリーダー部、ダンス部、競技力向上のため陸上競技部2件とバドミントン部、放課後キッズクラブに女子サッカー部、プロバスケットBリーグのハーフタイムショーに学生寮生を派遣しました。また、2018FIFAワールドカップパブリックビューイングを行い地域の方々と一緒に応援しました。他にも小・中学校の部活動補助、マラソン大会の運営補助、陸上競技大会の補助等、学友会や人材バンク（ボランティア登録名簿）等から延べ1553名の派遣を行いました。



教育活動支援・ボランティア他

市区町村および教育委員会との連携協定に伴う保育園・幼稚園児の運動遊びや体育の指導、小・中学校・特別支援学校の宿泊体験の引率、部活動等実技指導補助、児童・生徒の学習支援、不登校児童支援等の教育活動に派遣を行いました。教育現場での日常を実際に経験することで、教員に必要なコミュニケーション能力や課題解決力などの資質を向上させ実践力を身につけています。また、こども食堂や地域の祭りでの運営補助や、老人ホームでの話し相手や活動補助のボランティアを行いました。人材不足など地域が抱える課題を解決すべく派遣を行い、学生は地域の方々とふれあいながら様々な活動現場で社会経験を積んでいます。人材バンク等から延べ334名の派遣を行いました。



地域美化活動

本学では、グリーン大作戦として学友会総務部を中心に各運動部の学生や教職員が協力し、東京・世田谷キャンパス及び横浜・健志台キャンパス周辺地域の清掃を定期的に行っています。平成30年は、6回（延べ489名）実施しました。また、海浜実習先の千葉県・岩井海岸の清掃（66名）、世田谷・桜新町の桜並木清掃2回（27名）、グリーンヒル鴨志田西団地の環境美化作業（107名）など、延べ709名が参加しました。学生のマナー意識の向上、地域の美化に貢献するとともに、地域の方々との繋がりを深めています。



公開講座

近年、大規模自然災害が頻発しており防災意識が高まっているため、今年度は災害時の対応講座を多く設けました。また、日体大ならではの、オリンピック選手や現役アスリート・メダリストによる指導が受けられる講座もあり、好評を博しました。公開講座の参加人数は2988名となりました。毎年、多くの方で賑わう体力測定は、子ども向けの測定も行い、5日間の来場者数が1150名となり大盛況でした。幅広い年代の健康・体力向上意識を高めています。今後も、体育・スポーツに関するテーマを中心に、子どもから高齢者までより多くの地域住民の方々がスポーツに親しみ楽しむことができるような企画や活動を積極的に展開していきます。



日体大スポーツフェスタ2018 日体大スポーツフェスタin横浜・健志台キャンパス

平成30年12月9日(日)に東京・世田谷キャンパスにて小学生向けのスポーツ体験教室を無料で開催しました。日頃あまり接することのない種目も、競技の特性などを解説し、スポーツへの理解や関心を深め、スポーツを「する」ことの楽しさを子どもたちに実感してもらうことを目的としています。また、学生本人のキャリア形成支援ともなるよう小学生の引率誘導担当には将来教職を志望する学生を中心に配置しました。今年度は「トランポリン」「少林寺拳法」「ラクロス」「アルティメット」「セバタクロール」「車イスバスケットボール」の6種目を実施しました。楽しく体験できるように指導し、子ども達の笑顔をたくさん見ることができたと観覧の方にも多くの温かいお声をいただきました。体験後には日体大マスコットが登場し、フォトコーナーでは撮影の行列ができました。平成31年1月27日(日)には横浜・健志台キャンパスでも初開催。「体操」「バレーボール」「ハンドボール」「バドミントン」「ソフトテニス」「レスリング」「ゴルフ」の7種目を実施しました。



防災訓練 in 日本体育大学

本学では、地域・行政が連携して地域防災力を向上し減災を目指す実践的な訓練を毎年実施しています。大規模災害を想定し、消防ヘリ・はしご車・起震車搭乗体験・煙体験・消火・情報収集・仮設トイレ設営・炊出などの訓練や、体育館・教室での避難所宿泊体験を行いました。また、保健医療学部による「災害時の対応～トリアージ/避難所アセスメント～」 「災害時の対応講習会(阪神淡路大震災の教訓とトリアージ)」の講義や実習が行われ、実際の映像を用いて、講師の実体験からの教訓を講演。地図を使っての防災対策検討など、学ぶことが多く有意義であったと好評でした。ほかにも、世田谷区内特別養護老人ホームで地域合同総合消防訓練が2回開催され、消防署、警察署、地域の方、本学学生19名が協力しました。



その他トピックス

●第56回体育研究発表実演会

実演会は体育・スポーツの普及や健康増進活動の一助となることを目的としています。今年度は地方大会として、平成30年12月1日(土)に青森県、2日(日)に秋田県で開催し、日頃、各スポーツ競技や伝統芸能において練習・稽古・研究してきた成果を披露しました。テレビ等で取り上げられ、注目を集めている実演会ですが、今回は「集団行動」に替わって、新たに「集団体操」を演目に加えました。小・中学校の体育授業や体育祭等で扱える内容を実演、提唱していきます。

●行政事業委託

本学の人材や専門的なノウハウを活かし、行政の運営管理等業務委託を受託しています。中央区「子どもの得意スポーツ発見事業運営業務委託」では、児童が様々な体験を通して自分に合うスポーツ分野を見つけることを目的としています。世田谷区「障害のある人となない人も共に楽しめるスポーツ・レクリエーション交流活動に関する交流事業及び研修事業」、東京都スポーツ文化事業団「誰もが楽しめるスポーツ体験教室及び講習会」では、障がい者スポーツ推進により、障がいの有無や体力の程度にかかわらずスポーツやレクリエーション活動を楽しみ、仲間づくりをしていくことを目的としています。各々の事業に講演・指導を行う講師と学生を派遣しています。

●保健医療学部救急医療学科学生に感謝状

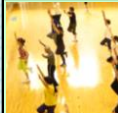
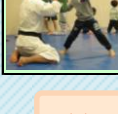
平成30年9月30日(日)に開催された「ヨコハマ大学まつり2018」において、救命救急スタッフとして従事し、来場者や出演者への安全の確保に貢献したことが認められ、ヨコハマ大学まつり実行委員会より感謝状が授与されました。保健医療学部救急医療学科学生は、「横浜マラソン2018」「青葉区民マラソン」においてもコースの沿道等でBLS隊(一時救命処置)としてイベントの運営に協力しています。

●せたがや災害ボランティアマッチングセンターコーディネーター養成講座

せたがやボランティア協会・せたがや災害ボランティアセンターが災害の備えの一環として行っている講座。本学との災害協力協定に基づき、平成30年2月24日(土)に本学にて講座を実施、75名の地域住民の方々と学生が参加しました。世田谷区の災害対策や災害ボランティア活動マッチングシステムの講義を受講し、コーディネーターとボランティアの役割を入れ替えての模擬訓練を行いました。本学は大規模災害時にボランティアの支援を必要とする人と、ボランティアをつなぐ活動の拠点となるマッチングセンターが開設されます。大勢のコーディネーターが必要となりますので、ぜひご参加いただき、地域防災力の向上にご協力ください。次回は、平成31年2月23日(土)に開催する予定です。

平成30年度 公開講座・各種教室実施状況

(平成31年1月現在)

講座名・実施キャンパス	開催日時	対象	受講料	受講者数
 らくらくエアロビクス運動教室 東京・世田谷 横浜・健志台	世田谷: 5/26 6/30 7/21 9/22 10/13 11/17 12/1 1/26 健志台: 10/28 12/9 < 10:30~12:00 >	一般 中高年齢者 本学教職員 本学学生	1回500円	249名
 ゆるヨガ ~はじめてのヨガ~ 東京・世田谷 横浜・健志台	世田谷: 5/26 6/30 7/21 9/22 10/13 11/17 12/1 1/26 健志台: 6/23 10/28 12/9 < 13:30~15:00 >	一般 高校生 本学教職員 本学学生	1回1000円	188名
 楽しくレスリングをやってみよう 横浜・健志台	6月9日(土)、7月7日(土) 9月9日(日)、10月6日(土) < 14:00~15:00 > < 15:00~16:00 >	年中・年長 小学生	無 料	113名
 めざせ! トップアスリート キッズからできる・ケガ予防・トレーニング 栄養管理を学んで将来をかせよう 横浜・健志台	5/20、6/24、7/15 8/19、9/23、10/21 12/23、1/27、2/24 < 10:00~12:00 >	小学1年生 小学4年生	1回1000円	58名
 救命蘇生法講習会 東京・世田谷	6月3日(日) < 13:00~15:30 >	一般 高校生 本学教職員 本学学生	無 料	24名
 筋トレのすゝめ ~筋トレの基礎を学ぶ~ 東京・世田谷	6月10日(日) 11月11日(日) < 15:00~17:00 >	一般 高校生 本学教職員 本学学生	1回1000円	60名
 からだのかたちと立位・歩行動作をはかる 横浜・健志台	7月14日(土) 7月21日(土) < ① 8:30~10:30 ② 10:30~12:30 > < ③ 13:00~15:00 ④ 15:00~17:00 >	一般 小・中・高校生 (未就学児を除く)	無 料	67名
 子どものための心理的応急処置 災害時や緊急時、あなたはどのように子どもに声をかけますか? 横浜・健志台	7月22日(日) < 13:00~16:00 >	一般 高校生 本学教職員 本学学生	無 料	96名
 第27回幼児教育講座 東京・世田谷	7月28日(土) < 9:30~16:00 >	幼児教育関連 分野の従事者 一般 本学教職員 本学学生	1500円	51名
 日体大筋トレ塾 東京・世田谷	測定: 8月4日(土)、9月29日(土) < 10:00~12:00 > トレーニング: 8~9月(月)(木) < A 16:00~18:00 B 18:30~20:30 >	一般 高校生 *説明会・測定 全16セッション 参加可能な方	無 料	460名
 防災訓練 in 日本体育大学 (特別講座) 災害時の対応講習会 ~阪神淡路大震災の教訓とトリアージ~ 横浜・健志台	10月13日(土) 13:00~ 14日(日) 9:30 (特別講座) 10月14日(日) < 10:00~11:30 >	一般 高校生 本学教職員 本学学生	無 料	210名 86名
 ボディケア: ヤムナ&ピラティス 東京・世田谷	11月11日(日) < 10:00~12:00 >	一般 高校生 本学教職員 本学学生	1000円	29名
 日本体育大学体力測定 東京・世田谷 横浜・健志台	健志台: 10月20日(土)~21日(日) 世田谷: 11月 2日(金)~ 4日(日) < 10:00~14:30 > 最終日は14:30まで	<一般測定> 高校生以上 <子ども測定> 年少~中学生以下	無 料	318名 562名 子ども 270名
 日体大スポーツフェスタ 2018 日体大スポーツフェスタ in 横浜・健志台キャンパス 東京・世田谷 横浜・健志台	世田谷: 12月9日(日) < 9:00~13:00 > 健志台: 1月27日(日) < 8:30~13:00 >	小学生	無 料	156名 149名

社会貢献活動 (ボランティア)の 依頼について

地域や学校等で体育・スポーツの各種活動などにおけるボランティアをご希望される場合は、本学ホームページ(<https://www.nittai.ac.jp/>)にアクセスし、ページ右側のバナー「社会貢献事業~公開講座等開催のお知らせ~」から「社会貢献推進事業依頼書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、以下までメールまたはFAXにてご依頼ください。なお、申請書をご送付いただいたからお返事までは、通常1~2週間要すること、またご依頼行事の実施時期によっては派遣そのものが困難になることもございますので予めご理解・ご了承ください。

「T-Lion Voice Home」 第8号 (2019年1月発行)

発行: 日本体育大学社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス

〒158-8508 東京都世田谷区深沢七丁目1番1号

TEL: 03-5706-0911(直通) FAX: 03-5706-0981 E-mail: shakaikouken@nittai.ac.jp